

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 12 月 8 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572608370号
法人名	ユウゲンガイシャ 有限会社 わかば会
事業所名	グループホームきらら千畑
所在地	美郷町本堂城回字新谷尻214-7 (電話) 0187-87-6630
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年10月28日

【情報提供票より】 (平成21年10月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 6 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	6 人 (常勤 6 人 非常勤 常勤換算 6.5 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 88 歳	最低 76 歳	最高 98 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤島医院、仙北組合総合病院、仙北歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

家庭的な環境のもと、心身の痛みを緩和し、癒しながら安心と尊厳のある生活を支援することを事業所の理念として掲げ、その実践に向けて日々精進している。  
そのため、法人代表や管理者、ホーム長をはじめ職員が一体となりケアに取り組み、すべて正規雇用とすることで職員の勤労意欲向上につながり、それが結果的に離職がない、利用者及び職員の信頼関係の構築とともに日中の手厚いケアにつながっている。  
事業所は田園風景が広がる新興住宅地の一角にあり、利用者の身体的負担を考慮してクッションフロアとするなど、環境・設備面でも快適な空間をつくり利用者が落ち着いて過ごしていることがうかがえる。  
また、地元の社会福祉協議会から地域の「まちかど相談所」として指定され、地域密着型サービスとしての機能や役割も認識し、地域住民との関わりも徐々に深まってきている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	個性的な居室空間づくりに向けた家族への働きかけや、計画作成担当者と現場職員とが一緒になった、利用者の心身状況に即した介護計画の作成など、前回評価結果に基づいて工夫し、改善につなげている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)
	管理者及びホーム長が自己評価をまとめ、それを職員が共有しながら前回評価結果を踏まえて改善につなげているが、今後は職員一人ひとりが関わりながら自己評価に取り組み、業務やケアを振り返る機会としてほしい。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4, 5, 6)
	定期的に会議を開催し、事業所内外の活動を報告したうえで評価や意見を求め、買い物時にはできる限り地域の商店を活用するなど、意見や要望を反映させている。 今後は、外部評価結果の報告などから課題等を提起し、効果的な事業所運営及びサービスの向上につながるよう会議の機能充実に努めてほしい。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見や苦情などの相談窓口を明らかにしているが、今後は利用者及び家族からの些細な意見や要望も「苦情」として捉えるなど、記録に留めながら職員全体で共有し、サービスの向上につなげていく仕組みづくりを期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会の一員として地域の祭りに協賛しているほか、利用者と共に花を植えたり、近所の子供が親の帰宅時間まで遊びに来るなど、地域の福祉拠点として自然な形で地域住民と関わっている。 また、地域の「まちかど相談所」として指定され、冬期間には事業所周辺の除雪を行ってくれるなど、徐々に地域の理解が深まってきている。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>								
<b>1. 理念と共有</b>								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	慣れ親しんで来た地域で、今までの生活を続けていけるように、心身の痛みを緩和し心を癒して穏やかな生活を送れるよう、お役に立ちたい事を、理念としております。			介護保険法の理念に基づき、家庭的な住居環境のもと、心身の痛みを緩和し、心を癒しながら安心と尊厳のある生活を支援することを事業所の理念として掲げている。	○	開設後6年が経過し、地域に密着した事業所としての役割が求められているため、地域や利用者ニーズなど状況の変化に応じて理念を見直すとともに、家族がわかりやすい簡潔な理念の構築を検討してほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝のミーティングを通して利用者さん一人ひとりを取り上げその方に合った取り組みを話し合いをしております。			玄関や事務所、ホールなど目に付きやすい場所に理念を掲示し、毎朝のミーティングにおいて職員全員で復唱するなど理念の共有に努めている。		
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者さんを通して家族や地域の方々にもホームでの生活の場を見て頂き、行事などにも参加して頂き理念に合った生活をされている事を一緒に実感して頂いております。					
<b>2. 地域との支えあい</b>								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	常に挨拶を交わし子供達も朝は「おはよう、行ってきます」帰って来ると「ただいま」と…また家に誰も居ない時は家の方が帰って来るまでホームで帰りを待つ等、気軽に来て頂いております。また美味しい物が沢山ある時はお分けして食べて頂いております。	○	毎朝子供達の元気な姿に職員はもちろんですが、利用者さんも優しいお顔で子供達の様子をご覧になっております。これからもご近所の方々とコミュニケーションを図り、お互い協力し合えるお付き合いをかさねていきたいと思います。			
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭り等には協賛等をして、毎年御守護を頂いております。また地域の菜園作りには花を頂き地域の方達と一緒に、花を育てました。	○	地域の代表者の方やご近所の方達のご協力もあり、地域行事や様々な取り組みに参加させて頂いております。今後も機会ある時は積極的に参加し地域の一員として地元の方々と交流を図って行きたいと考えております。	○	地域の花植えなどに参加し、町内会の一員として地域の祭りに協賛しているほか、事業所の夏祭りなどを通じて近隣の方々と交流している。また、地域の「まちかど相談所」として指定されていることもあり、近所の子供が親の帰宅時間まで遊びに来るなど、防犯の役割も担いながら地域住民との信頼関係を構築している。	
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の中にあるホームとして自立した生活が困難になって来た方の相談や・家族の悩み等、まちかど相談所の指定施設になっており地域の為に貢献したいと考えております。	○	まちかど相談所の指定施設になっておりますが、実際ご相談にいらっしゃる方は多くはありません。気軽に立ち寄り、些細なことでも相談できる窓口になるよう取り組んで行きたいと思っております。			
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常にミーティングを通して全員が事業の社会的責任を常に認識をして、自己の評価のレベルアップにつなげる様に努力しております。			管理者とホーム長の2人で自己評価をまとめ、前回評価結果を踏まえて事業所内で改善につなげている。	○	業務やケアを振り返る機会と捉え、職員一人ひとりが関わりながら自己評価に取り組み、状況や課題を全職員で共有しながら計画的かつ継続的な質の確保につなげてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回の運営推進会議を通し、ホーム内・外活動の報告をし、評価や意見を述べて頂きながらその後の活動やサービス向上に繋げる様努力しております。			定期的に会議を開催し、事業所の行事など状況報告を行い、それぞれの立場から意見を求め、できる限り運営及びサービスに生かしている。	○	外部評価結果を報告し、そこで明らかにした課題等への改善策や取り組みについて外部の視点から意見交換を行うなど、事業所運営及びサービスの向上に向けた効果的な会議の進め方を検討してほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームでは、市町村担当窓口や介護支援事業所等訪問し、情報交換し協力しながらサービスの質の向上と市町村の福祉事業に貢献出来るよう取り組んでおります。			個別にファイル化した利用者の生活状況を地域包括支援センターに出向いて報告し、助言を得ながらケアに生かしている。 また、地元社会福祉協議会から「まちかど相談所」に指定されている。	○	認知症サポーター養成講座の開催に向けて、積極的に行政と連携を図りながら地域での開催実現をめざしてほしい。
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	一人暮らしで入居される方などは身元引受人の方・民生委員・生活相談員との話し合いの場を持って話し合いを行っている。					
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の身体的・精神的状態にも配慮しながら、自施設内で会議を通し虐待防止について常に話し合いを行っております。	○	精神的に重圧のかかる仕事ですので、職員一人ひとりが心身共に健康で職務に携われるよう配慮し、今後も虐待防止について話し合いをして参りたいと思います。			
<b>4. 理念を実践するための体制</b>								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約の内容を十分に説明をして理解して頂き署名捺印をして頂いております。					
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の生活に対する問題がある様な時は個々に話し合いの場を作り良く話しを傾聴し、その都度会議で話し合いを行い支障が起らないよう対処している。					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月個々の身体的・精神的面・生活状況を通信を通して報告を行っている。また何かある時はその都度電話や家を訪問して報告をしています。			職員間で担当を決め、利用者一人ひとりの「きらら通信」を発行しており、利用者の一言もそえながら、事業所での生活状況を報告している。 また、個別の「ふおとあるばむ」も併せて送付し、利用者の状況を目で見てわかるよう工夫している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月家族からの意見書を書いて頂いたり、面会時などご意見を頂いたりしております。、それを基に利用者さんの計画やホーム運営に反映をさせるよう話し合いをしています。			面会時や電話など会話の中で家族の意向や要望、苦情などの把握に努めており、苦情等があれば職員間で話し合い、利用者への関わりや計画に反映させている。	○	苦情や要望は表出しにくいことを理解し、現在の生活に支障や不満がないかなど利用者及び家族のほか、職員や地域住民などの潜在的なニーズを把握するため、今後の積極的な工夫と取り組みを期待したい。
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日のミーティングを通して傾聴し、反映をさせております。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員の話し合いの下で調整をしていつでも対応ができるようにしている。					
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者さんが不安が無く安定した生活をして頂く為に、職員への働きやすい職場・安心して働ける職場として、何か問題のある時は常に、話し合いをして解決をし、長く働けるように十分な配慮を行っております。			すべての職員が開所当初から関わっており、系列事業所間の異動もないため、利用者との馴染みの関係を築き利用者も落ち着いて生活している。急な離職があれば、パート職員や法人代表者がフォローし、利用者の負担軽減を図ることとしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ研修等に参加して頂き、職員の技術向上・育成を図り計画を立てて取り組んでおります。又、ホーム内では働きながら実践しトレーニングできる環境にあり、職員の育成に取り組んでおります。	○	勤務体制の関係もありますが、職員の技術向上と育成を図るため、職員一人ひとりの段階に応じた研修に参加して頂くよう計画を立てて参ります。	毎朝のミーティングを充実させ、実践を踏まえた内部研修を実施している。 なお、前回調査でも課題としていたが、二交代制の勤務体制もあり、計画的な外部研修への参加には至っていない。	○	良質のサービス提供のため、職員一人ひとりの経験年数や職種、目標や希望などから研修計画を作成し、段階に応じて職員の育成及びスキルアップを図り、良質のサービス提供につなげてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業施設の連絡会に入会しており、その連絡会主催の研修や交流会に参加し、情報交換をしながらサービスに質の向上に向けて取り組んでおります。			県及び圏域の連絡協議会に加入し、管理者や職員が悩みを聞いたり情報交換しながらサービスとモチベーションの向上につなげている。	○	他事業所との職員の相互訪問や交流する機会を設け、他事業所の実践や取り組みから利用者へのサービスに生かせるよう積極的な働きかけを期待したい。
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人代表者や管理者は職員と日常的に話し合い、悩みや不安など相談しやすい関係づくりに努めております。又、開設時からの職員が殆どであり気兼ねなく話し合える関係があり、親睦会等を通じてストレス解消を図っております。					
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	代表や管理者は研修の必要性を認識しており、出来る限り参加出来る様配慮しております。	○	年齢に関係なく、各自職員が熱意と向上心を持って職務に取り組めるように配慮しており、更に内外の研修を受講し、いきいきと働けるよう取り組んで参りたいと考えております。			
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>								
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談・面接・利用まで、利用者本人の思いや不安などお話を良く傾聴し受け止め、信頼関係の構築に努力しております。	○	利用者の訴えやお話を良く聞き、利用初期は双方の信頼関係の構築を図り、職員はメンタルケアを十分に行っております。今後も利用者さんの思いを大事に信頼関係を築いて参ります。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談のある時はホームに来て頂いたり、電話で話をしたり、家に向いて聞く等、状況に応じて対応を行ない、不安を無くすように努力をしている。					
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホーム内で出来ない事は専門の方をお願いして、本人に対しベストなサービスが出来る様に努めております。					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	安心して生活ができるように、お部屋作りや職員他利用者さんとのふれ合いの場など・ホームの雰囲気作りに全員で努力しております。	○	ホーム見学や面接等行いご本人やご家族にホームの雰囲気を感じて頂くようにしております。その際、職員や他の利用者さんと係わることで、場の雰囲気に馴染み安心し納得した上でご利用出来る様に、今後も取り組んで参ります。	管理者やホーム長が必ず事前訪問を行い、利用に至るまで家族や利用者との馴染みの関係をつくっている。 また、事業所の見学も行い、雰囲気を体感してもらったうえで利用につなげている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>								
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ドライブをしながら車中でお話を聞いたり、お茶をしながら昔話や苦労話等を聞き心を共にしてお互いの関係を築いております。			家庭科の先生だった方に調理方法を学び、樹木の手入れ畑づくりなど、利用者の知識や技術を職員が参考にしている。 また、利用者を敬う思いが接し方や言葉遣いに現れており、和やかに支え合いながら生活している。		
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に家族との協力の元に本人がより良い生活や健康な生活を送れる事を面会時や電話・訪問などで話し合いを行い、一緒に気持ちで築きあげております。					
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方のより良い関係が保てるように、家族が施設に訪問したり、ホーム側でご家庭を訪問し、情報交換をする等の対応を心がけております。					
	30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域との交流を図り散歩をしたり、馴染みの店に出掛けたりしながらこれまでの関係を継続出来る様に取り組んでおります。					
	31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日のミーティングを通して傾聴し、反映をしている。レクリエーション等を通じ係り合える環境にあります。職員も参入し利用者さんが孤立しないよう対応しています。	○	認知症状から孤立してしまいがちですが、利用者さんお一人お一人が孤立せずに、利用者さん同士の係りを大切に出来る様職員が間に入り支援しております。その係りの中から、利用者さん同士が支え合えるように今後も取り組んで参ります。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居後も必要に応じ、協力体制をとっています。いつでも相談しやすい体制をとっています。	○	利用者さんの退居後もご家族とのつながりを大切にしております。必要に応じご相談を受け、出来る限りの協力や支援を行っております。又、出先などでご家族と会うこともあり気軽にお話しております。今後も利用当時の関係を大切にしておいて行きたいと考えております。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>								
<b>1. 一人ひとりの把握</b>								
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	皆さん一人ひとり思いや・生活のスタイルを把握しその方の得意な事・趣味などを十分に取り入れて毎日の生活を送っていただいております。			普段から利用者の様子を観察し、細かい変化を感じ取れるよう利用者の訴えに真剣に耳を傾け、意向の把握に努めている。 また、意思や訴えの表出が困難な方には、利用者の言動などから状況に応じて選択肢を提案し、利用者を選んでもらっている。		
	34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	介護支援専門員による利用者さんやご家族への聞き取りを行い、職員が周知出来るように努めている。					
	35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者お一人お一人の毎日の健康状態や生活スタイルを観察し、総合的に把握出来る様取り組んでいる。	○	健康チェックや様子観察を大切にし、お一人おひとり心身状態の変化に注意し、把握するように今後も努めて参ります。			
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の要望を受け入れて、主治医の意見や支持を参考に、介護支援専門員・職員全員の話し合いの基で計画を作成しております。	○	利用者本人がより良く暮らすための介護計画を作成し、サービス提供出来る様に今後も取り組んでいきたいと思います。	前回評価結果を受けて、計画作成担当者と現場職員との話し合いにより介護計画を作成しており、利用者及び家族の意向や職員のアイデア、意見も取り入れている。	○	毎朝のミーティングを話し合いの場としているが、カンファレンスやモニタリングも兼ねており、位置づけが明確になっていないため、ケア会議や職員会議の目的を再確認し、単独で開催するための時間の確保について検討してほしい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に基づき支援を行っておりますが、期間内に変化が生じた時はその都度会議を開き、計画の見直しを行い家族さんの承諾も得ております。			モニタリングをミーティングを兼ねて行い、心身状況の変化や職員の気づきがあれば、医師やケアマネからの情報を職員間で共有し、利用者及び家族の意向も確認しながら計画を見直している。	○	職員間で情報共有しているが、利用者の状態や意向により計画変更した際の理由や経緯が記録していないため、ケア会議や職員会議の単独開催と併せて、会議録や経過記録の作成、徹底が求められる。
	38	○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録簿が身体面・精神面・環境面に分かれて記録されるようになっており、しっかり観察を行い記録されております。また記録を基に計画も見直しをしております。	○	介護記録を基に計画の見直しに役立てております。今後更により良い計画が立てられるように、介護記録の記入の仕方や工夫をし、改善に取り組んで参ります。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	専門職の方々との連携を取りながら対応を行い、要望に答えられる様に努力しております。	○	ご本人や家族などの要望に応じ、必要な場合は柔軟な支援が出来る様に対応して行きたいと思いません。	利用者の身体状況に変化があれば、家族の負担を考慮して事業所の付き添いで通院するなど柔軟に対応している。 また、開設当初から社会福祉協議会の「まちかど相談所」として指定されている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	協力体制にありその都度協力を頂いております。					
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	話合いの出来る関係作りがされており、何かあった時はお互いに協力しあいご本人の意向にあった、支援をおこなっております。					
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	意向や必要性があれば、相談を行い協同して行っております。					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一応ホームの担当医は決まっておりますが、本人が希望する場合は本人の希望の医師に受診を行っております。またその時の身体の状態により適切な医療機関に受診をおこなっております。			できる限り利用者一人ひとりのかかりつけ医で対応できるよう支援しており、家族と相談しながら協力医を定め、2週間に1回は協力医が往診するなど、適切な医療体制を整えている。		
	44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	状態により職員と家族が同伴をして、専門の医師の治療を行っております。					
	45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	身体的に変化のある時は常に担当の医師や看護師と連絡を取り個々の健康管理に努めております。					
	46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された時は洗濯物などを取りに行き面会を行い、状態を観察して病院関係者と相談しながら、早期退院へ結びつけております。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの生活が少し困難になって来た時は、重度になっても本人が安心して生活出来る場を探していく事を、医師や家族と早めに相談をしております。	○	重度化や終末期についてはご家族の意向も伺いながら対応しております。心身の状況に適し、安心して生活出来る施設等を家族と一緒に検討して行きたいと思っております。	これまでに看取ったケースはないが、重度になっても安心して生活できる場として対応ができるよう、管理者をはじめ職員全員で看取りに向けた対応を検討している。	○	看護師や医療機関との連携・協力体制、マニュアルや同意書の整備など、利用者及び家族の希望に応えるための具体的な体制整備に努めてほしい。
	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームで出来る範囲があるので、身体的に重度になり、看護が必要とされるようになった場合は今後の事について、家族の協力の元で医師と相談を行っております。					
	49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退所時は本人の身体面・精神面・環境面などを十分に話し合い、情報交換を行い、他の居所に行っても迷わずスムーズに新しい生活が出来るように努めております。					
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>								
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>								
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>								
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人のプライバシーを守り、思いやる気持ちを大事にしながらか対応に努力しております。			排泄介助時には丁寧でさり気なく、目立たないよう声かけしながら誘導し、利用者の誇りやプライバシーに配慮している。 また、利用者の記録や情報は個別にファイル化し、事務所内の書庫への保管を徹底している。	○	夜間に徘徊する方に家族の同意を得て鈴をつけているが、利用者の尊厳保持という点で好ましくないと捉えているため、今後の対応策を検討してほしい。
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いを大事受け止めて、良くお話を傾聴し、本人が安心と尊厳のある生活をして頂けるように努力しております。	○	本人が安心して生活出来る様にか家族の要望や声を確認しながら、家族と同じ気持ちになって考えて行きたいと思っております。			
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活のスタイルに合った生活・趣味や手作業・外での作業などその日の希望に添って生活をして頂いております。	○	与える生活ではなく家族や本人の思いを大事にしなが、本人がホームで生き生きとした、気持ちの良い生活が出来るように支援したいとおもいます。	日中のケアを充実させることで夜間の不穏行動を抑止し、安眠につなげるとのケア方針に基づき、外出や趣味活動なども利用者一人ひとりの状態や意向に沿って支援している。	○	二交代制の勤務体制により、職員の勤労意欲の向上につながり、現在の利用者の状態も落ち着いているため問題はみられないが、利用者の状態変化や重度化を見据え、食事や入浴など利用者本位の柔軟な支援体制について検討してほしい。



外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>									
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の好きな衣服を本人に選んで頂き着て頂いております。理・美容は本人の希望で行く人・自分で決定出来ない方は支援しております。	○	女性の方は特に、おしゃれには興味があると思います。身だしなみをきれいにすることで、生活にも張りができます。本人の好きな衣服を大事にしながら、プラス1ポイントを支援し、日々気持ち良く生活出来る様に努力して行きたいと思っております。				
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には調理を一緒に行い・おやつ作り等は積極的に行って頂いております。利用者さんの声を聞きながら好きな物を取り入れております。	○	食べる事は皆さん大好きです。また自分達で作る楽しみも、とても大事な事だと思います。今後もテーブルを囲みながらのおやつ作りなどは、皆さんと一緒に楽しみながら、行って行きたいと思っております。	○	栄養士資格のある職員が献立を立て、一人ひとりの咀嚼状況に合わせた調理方法や彩りよい盛り付けを工夫している。 また、準備や片付けを共に行い、外食に出かけるなどして食事を楽しめるよう工夫している。	○	朝夕の食事を各居室で摂っており、10分おきに職員が声かけしているが、職員が1人で対応しているため、誤嚥などの非常時を想定し、安心・安全を確保するための仕組みづくりを検討してほしい。
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	眠れない時「ちょっと寝酒っこ」とおちょこで少し飲まれている方がおります。危険のない様に見守りにて飲んで頂いております。						
	56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように「尊厳の保持」に配慮して支援している	オムツ使用の方は、日中はオムツを外しパットで対応し、時間でトイレ誘導を行い不快感を取り除いている。	○	ゴワゴワしたオムツを1日つけている事は、とても不快だと思います。日中は十分対応ができるので、日中は綿の下着にパットを使用し、排泄リズムを掴み、トイレ誘導にての対応を継続して行きたいと思っております。				
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一応入浴日は決めているが、希望の日や汚れのある時はその都度本人に合わせていつでも入浴できるようにしている。				○	週2日の入浴日としているが、利用者の希望や汚れなど、状況に応じて柔軟に対応しており、近隣の温泉に出かけて入浴を楽しめるよう配慮している。	
	58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その方の生活のスタイルに応じ、休むまでの時間はテレビを観たり・塗り絵をしたり・パズルをしたり・縫い物をしたり皆さんそれぞれですが、見守りにて安心して休まれております。						
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>									
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	外で草むしりをする方・ホーム内をモープ掛けする方・台所で作業する方・趣味で塗り絵や刺繍などをする方など色々ですが、自分から出来ない方にはレクを通して支援しております。	○	外での作業などをする時は、身体的管理を行いながら、事故のないよう十分な見守りを行い、出来る事をしていただけるように、支援して行きたいと思っております。		○	調理の下ごしらえや洗濯物たたみ、新聞紙たたみなどのほか、畑づくりやおやつづくりなど、これまでの経験を生かせるよう支援している。 また、塗り絵や刺繍、パズルなど趣味活動のほか、寝酒をたしなむ方もおり、張り合いや喜びを感じられるよう配慮している。	
	60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者の能力に応じて金銭管理を行っております。買い物の際はホームで立替えて入居者さんにお金を渡しそれぞれに好きな物を自分で選んで買ってもらうように支援しております。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の身体的・精神的な面に配慮しながらなるべく外での生活も重要視しております。			近隣の散歩やの買い物などに出かけ、天候や利用者の希望に応じた弁当持参でのドライブ、外食や温泉など外出の機会を多く取り入れている。		
	62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	少なくとも週2回ぐらいはドライブにて遠くの家や海・買い物・科学館等に出かけております。	○	皆さん外に出掛ける事を、とても楽しみにしております。バイタルチェックを行いながら身体面・精神面に配慮しながら、お出かけをして社会性を持って頂くことと、気分転換をして頂けるように継続して行きたいと思っております。			
	63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から電話が来た時はお話をして頂いたり、電話をかけたい時はつないであげたり、家族や知人から手紙が来た時は返事を書くように支援しております。	○	家族の面会が少ない時は電話にて、近況報告を行いご本人とお話をして頂き、互いに安心して生活が出来る様に支援して行きたいと思っております。			
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時は快く受け入れて、お茶やお菓子・手作りの物を食して頂きながらゆっくり過ごして頂ける雰囲気作りなどに努力しております。					
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	転倒の危険性がある方には職員と一緒にいる時間を増やしたり、その都度問題のある方はミーティングにて話し合いをして検討をおこなっております。					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	日中は見守りを重視を行い、鍵をかけないで自由に出入りが出来るようにしております。			普段から居室や玄関には鍵をかけず、利用者一人ひとりの行動を職員全員で気遣い、玄関を出ようとしている方には、さり気なく後方について歩き、危険のないよう見守りしている。 また、近隣住民からは、利用者が徘徊した場合の声かけや連絡など理解と協力を依頼している。	○	夜間に徘徊する方がいるため、ドアに鈴を取り付けるなど開閉時に感知できるような方法を検討し、利用者の安全確保に努めてほしい。
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	特に危険のない場合以外は、見守りをして、余り深入りしないで様子観察をおこなっております。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品等は事務所内の余り目のつかない場所に保管しております。日常使う洗剤や手の消毒剤・包丁などは危険のないよう見守りをして管理しております。夜間は危険物は鍵のかかる戸棚に保管しております。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価		外部評価				
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	常に見守りを重視し、特に危険だと思われる方には対策を立て、職員全員が対処できるように事故防止に取り組んでいます。	○	救急救命の講習等は1回に限らず、何回でも受講し救命に備えて行きたいと思います。				
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	救急救命の講習を受けて事故の発生に備えてあります。						
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防署の指導により地域住民の協力を得ながら避難訓練を実施しております。駐在所にも協力を頂いております。また冬などは地域の方からホームの周りの除雪の支援などもあり災害対策に努めております。	○	消防の訓練以外にも自訓練を普段から行い緊急に備えて行きたいと考えております。	○	年2回の防災訓練には地域住民や駐在所などに連絡のうえ、消防署の指導のもと実施しているほか、スプリンクラーを設置して安全確保に努めている。 また、冬期間には町内会で事業所周辺の除雪をしてもらえるなど、地域の協力体制も確保している。	○	避難訓練には地域住民の理解を得ているが、より実効性のある訓練とするため、緊急災害時におけるお互いの役割を明確にしながら取り組むことを期待したい。
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者お一人お一人の身体面や認知症状により起こりえる事故や危険性について、ご家族等に説明し対応策について話し合い、理解と了解を得ながら抑圧感のない生活に配慮し対応しております。						
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>									
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックを参考に健康管理を行っております。体調変化や異変があった場合は速やかに報告するよう職員全員周知しており、その際は敏速に対応し主治医の指示を仰いだり、協力医療機関への救急搬送等の緊急体制もっております。						
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	インターネット等で入手した内服薬の薬効効果を参考に理解している。又、症状の変化により新しい薬が処方された場合は主治医の指示を受けたり、その都度インターネット等を検索し職員全員が薬の内容を理解出来る様に配慮している。						
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日ラジオ体操を取り入れたり、適度な運動を心がけるよう散歩や家事援助（園芸や掃除等）を行っております。さらに食事面では食物繊維質を多く取り入れたり水分摂取等の管理、又、身体的理由によりどうしても便秘になりがちな方には主治医と相談の上、内服薬も併用して頂いております。						
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを行いイソジンガーグルを使用し口の中の殺菌に努めております。	○	口の中の衛生は色んな予防につながるの、継続して行きたいと思います。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう状況を把握 し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じ た支援をしている	毎食の食事のバランスや栄養面には、栄養士を通 して指導があり配慮しております。水分は毎日時 間を決めて補給を行っております。摂取量や水分 量は記録をしております。			利用者一人ひとりの食事、水分摂取量を記録 し、カロリー計算など栄養士資格のある職員が関 わりながら栄養バランスに配慮している。 また、利用者の咀嚼状況も考慮し、刻み食など 調理方法を工夫している。		
	78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決め があり、実行している（インフルエン ザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイル ス等）	外出後や食事の前の手洗いやうがい、又、排泄後 の手洗いを徹底して行い感染症予防に徹してあり ます。又、季節性の感染症流行期には、外部から のお客様への手洗いうがいのご協力や、ご家族が 来訪した際は双方の健康状態により、ご面会の自 粛をお願いする場合があります。	○	感染症の方出ないように、継続して予防に取り組 んでいきたいと思ひます。			
	79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場とし ての台所、調理用具等の衛生管理を行 い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努 めている	食材は短期購入しており、長期保存はしない様に 配慮しております。又、毎日の冷蔵庫内の衛生管 理チェックを行い食中毒予防に心がけてありま す。調理器具や食器類は乾燥機による熱処理（殺 菌）を行い、安全で美味しく食事が出来る様に十 分に対応しております。					
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>								
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>								
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの工 夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親 しみやすく、安心して出入りができるよ うに、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関口も広々としており、周りにはプランター花 が並び明るい雰囲気になっており、寒くない時は ドアをいつもオープンにしております。					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や臭いや光がないよ うに配慮し、生活感や季節感を採り入れ て、居心地よく過ごせるような工夫をし ている	玄関先にはプランターを並べ入居者さんの癒しに なるよう明るい雰囲気作りをしております・ホー ルから居間、食堂は一つの空間になっており数箇 所に、好きな場所でくつろげるように、ソファー が置かれてあります。またホール内には四季の 花々が色んな場所に飾られてあります。ホールの 床はクッションフロアを敷いており、スリッパ は使用せず、歩く音も静かです。掃除は1日に何回 も行い悪臭等はなく清潔に心がけてあります。			高齢者施設特有の臭いがなく、トイレは4か所 と多く、最短距離で移動できるよう配慮してい る。 また、転倒時や歩行時にも優しいクッションフ ローリングを敷き、ソファーで足を伸ばしなが ら、ゆったりと寛げる空間としている。		
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所 づくり 共用空間の中には、独りになれたり、 気の合った利用者同士で思い思いに過 ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内には数箇所にソファーが置いてあり、思 い思いの場所で過ごせるように工夫されてありま す。また各居室にも利用者さん同士が行き来をし て自由にお話をされて交流を図っております。					
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	ご家族の協力を頂きながら、出来るだけご本人の 馴染みの家具や身の回りの品物を持ってきて頂い てありますが、まだまだ十分とはいえません。	○	ご家族の方に持って来て頂くように説明をして、 協力をお願いしておりますが、なかなか持ってき て貰えないしておりますが、本人のほしい物や、な じみの物を本人・ご家族と一緒に確認しながら、 少しずつ取り入れていきたいと思ひます。	前回評価結果を受け、改めて家族に働きかけた ことにより、昔から使ってきた馴染みの鏡や家族 の写真を飾り、専用のテレビを置いたり、利用 者の個性ある生活空間づくりに努めている。 また、家族の要望があれば、宿泊できるよう配 慮している。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	夏季と冬季は共に冷暖房設備を使用し、適温を保つよう様にしております。又、ホーム・居室内の換気に努め臭いや空気よどみがない様に窓の開閉や換気扇の使用をする等、さらに必要に応じて消臭剤の設置をする等の対応をしております。					
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体機能面と安全面に考慮し、居室内の家具等の配置に配慮しているほか、ご本人の思いや自立を促しながら環境整備に取り組んでいる。					
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る事を活かし、満足な生活が出来るように見守りをしながら支援を行っています。					
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホームの前には花壇があり花や野菜が植えられており、利用者さんが草むしりをしたり、野菜の収穫をされて楽しんでいる。					

※  は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
<b>V. サービスの成果に関する項目</b>			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

\*利用者の身体機能面や認知症状の度合いに応じ、お一人お一人に合ったケアに努めるよう日々取り組んでおります。又、メンタルケアを十分に行う事により利用者の悩みや不安を察知し、安心して生活が送れるように支援し、お一人お一人の残存能力を活かした生活スタイルを大切にしております。

\*ホームの代表は利用者の立場にたった考えを大切にし、社員教育に力を入れております。職員全員が代表の意向に添い、職員の協力体制は堅実でホームの理念を大切に日々職務に携わっております。これからも理念を大切に職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。